### 岡山県日中教育交流協議会会報

### 悠久

第 39 号



大連第一中学校 食堂 撮影:門野八洲雄

### 本号の内容

①留 学 生 事 情 岡山商科大学学長 井尻昭夫

②蘇州日本人学校での生活 蘇州日本人学校 教諭 中原 真智子

③ STUDENT EXCHANGE in 大連 2012

(1)今後の相互交流活動の継続に期待 岡山県立岡山操山高等学校 教諭 小川 晃子

(2)日本人生徒感想文

December

2012



岡山商科大学 学長 井 尻 昭 夫

なったのである。事後、 る日突然多数の留学生の確保をしなければならなく は毎年一,二名の留学生の受け入れであったが、あ 遅々として進んでいなかったからである。それまで 根首相のアジアからの留学生十万人受け入れ計画が 設置認可の際に定員の三十%に当たる留学生を受け 生を受け入れている。その始まりは、文部科学省の ように思う。現在では、韓国、中国から大勢の留学 成果に対してであった。「教育」とは目先の問題もあ 卒業後一生懸命に昇り詰めた「社長」という努力の ていましたが、今日お返しします。」という連絡を受 も社長になり、学生時代の『借金』をいつも気にし まっていたが、およそ三十年経過した後のある日、「私 ば強引に連れて行った。そのことを小生は忘れてし 韓国、中国へ学生を出世払いで金を工面してまで半 から始まり、いまではそれが定着している。当時、 小生が勤務した神戸の大学での国際化は、私の「活動 とができない。その若き日の体験があってだろうか、 そして悪戦苦闘の日々の思い出はいまでも忘れるこ 奨学金を得て留学することは大きな目標であったこ 入れることを条件とされたことにある。当時は中曽 体験が何らかの役に立ったのではないか、と思った。 であると小生は考えており、あのときの強引な海外 ろうが、人生という長い道程の生き様を支えるもの けた。小生は感動を覚えた。それは「金」ではなく、 とを思い出す。若いときの留学体験、その喜びと感動 例ではあるが、小生が大学時代にはフルブライトの からの留学生は減少の一途をたどっている。卑近な うごとに減ってきた、といわれている。事実、日本 この体験がいま岡山商科大学でも生かされている 最近、日本から海外へ留学する学生の数が年を追 今日では多くの留学生を受

ところで、本学の留学生は世間一般から「観察」ところで、本学のおり、学生に支えられ感謝する今本学から大学院へ進学する学生は素晴らしい成績を上げている。学歴社会にどっぷり漬かってきた方々には多分に驚きを示されるであろうが、本学から関東では早稲田、慶応、お茶の水、一橋大学、関西では京都、大阪、神戸大学と、それぞれの大学院へ進中では日本一であり、二位は東京大学、三位は一橋た。地方の小さな大学であるが、本学の成果にはれた。地方の小さな大学であるが、本学の成果にはれた。地方の小さな大学であるが、本学の成果にはれた。地方の小さな大学であるが、本学の成果にはれた。地方の小さな大学であるが、本学の成果には上間一般から「観察」ところで、本学の留学生は世間一般から「観察」ところで、本学の留学生は世間一般から「観察」ところで、本学の留学生は世間一般から「観察」といる。

また、外から内へ向けて岡山の政財界から素晴らし 海外研修、フィールドスタディに積極的に挑戦させ、 を委ねられている大学人の責務は重大であり、 代の教育成果として実を結ぶことを祈ってやまない。 受け入れも国際化に対応するものであり、新しい時 学生に自己の殻を破る機会を作っている。 図っている。これと同時に、とかく縮み込みがちな 意識し、内から外へ向けて海外インターンシップ、 に新しい大学づくり、時代のニーズに合った教育を でもいろいろな方策を打ち出している。新しい時代 委ねられるのか、という声がある。明日の人材育成 神が乏しいといわれている今の若者に明日の日本を を迎えているが、飽食の時代に育ち、ハングリー精 焉を迎え、いまや知識が価値を持つ新しい「知価社会」 い方を講師としてお招きし、理論と実践の融合化を いろいろと考えさせられる。日本の工業化社会は終 留学生諸君の素晴らしい姿を目の当たりにして、 本学

# 学校での生活

### 蘇州日本人学校 教 諭 中 原 真智子

新校舎全景

蘇州日本人学校

催まで危ぶまれたけれど、規模を縮小しつ 更せざるを得なかった。一時は運動会の開 ると熱いものがこみ上げてくる。 だった。子供たちのひたむきな姿を見てい で小グループを作って競う縄跳びなどな と迫力のソーラン節。小学部と中学部合同 のかわいらしいダンス。中学部による団結 きな声で歌う校歌や応援歌。小学部低学年 つもすばらしい会を行うことができた。大 生活している人に聞いても、あんな大きな ど、どれをとっても微笑ましく見事なもの 騒ぎは初めてだという。そのため行事も変 行事に熱心に取り組むのはもちろんだが

授業も一生懸命受けるし、清掃活動も力を

\*金木犀異国の地でもいい香り 蘇州での最初で最後のソーラン節 飛行機雲だんだん帰国近くなる (中学二年男子) (中学三年女子) (中学一年女子)

秋の俳句だ。 これは、 国語の授業の時に生徒が作った

編入してきた。二番目の俳句を作った生徒 までに二人の生徒が帰国し、一人の生徒が る。三番目の歌を作った生徒は、昨年十一 いる中学一年生のクラスでも、四月から今 合で帰国する生徒も多い。私の受け持って 都合で中国生活をしているので、仕事の都 小学部三三三人、中学部六十七人、計四百 人の児童生徒が在籍している。親の仕事の 創立八年目の蘇州日本人学校には、現在、 近いうちに帰国することが決まってい



中学部のソーラン節

の運動会には中学部一~三年でのソーラン 日本人学校に来た。そして、今年十月

節を踊った。 た。ところが例の反日騒動だ。 当初、運動会は九月に開催する予定だっ 長年中国で

> られることは多い。こちらも心して教えて 身が引き締まる思いがする。本当に素敵な 抜かない。純真で誠実な子供たちから教え 子供たちだ、立派な学校だ、と胸を張って いかなければ、よい授業をしなければ、と 言える。

徒の随筆だ。 時に悲しい思いをすることはあるようだ。 する偏見はなくなった。しかし、それでも 中国の方と話すと、ますますその思いは強 ちだということがわかる。日本語ができる 伝わる。中国語ができればもっとよく知り じなくてもやりとりはできるし、 穏やかな生活を取り戻している。 くなる。日本にいた頃抱いていた中国に対 合うことができるだろうにと残念に思う。 な思いをしたことは一度もない。言葉は诵 蘇州の方は親切だ。私はこちらに来ていや (もっと努力をすればいいのだろうが…。) 人一人に接してみると気持ちのよい人た 反日騒動も今ではすっかり収まり、 次に挙げるのは、夏休み明けに書いた生 気持ちは

「日本人なんて…。」

も、ふとしたときにいくつもの視線が私 の人が、私達が「リーベンレン」である でした。あの小さな集落にいるほとんど れる「日本人(リーベンレン)」の言葉 の種は、中国人のひそひそ声の中からも 気持ちのいい環境の中で私の唯一の悩み があり、小さな集落のようになっていま した。広い草原にたくさんの星。最高に 泊まったパオは、周りにもいくつかパオ 内モンゴルに行きました。内モンゴルで ことを知っていて、朝食を食べに行って 私は今年の夏休みに中国のハルピンと

思います。 ばかりじゃないよ。」と言うけれど、そ 達に向けられることが嫌で嫌でしかたが て…」という言葉を私は一生忘れないと た。そんなときに言われた「日本人なん んな風にはどうしても思えませんでし あなたなんか見ていないし、悪いうわさ ありませんでした。家族の人は「だれも

こんなものだから。」そう思いました。 う気持ちが一番強くありました。「どうせ きました。それと同時に「ほらね。」とい かったことを後悔し、怒りがこみ上げて うしたらよいか聞きに行きました。そう なカードを持っていなかった私達は、中 言われたのです。私は母と一緒に行かな したら母は「日本人なんか、死ね。」と に行ったときのことです。身分証のよう には入れなかったので、母が中国人にど それは、私達家族がハルピンの博物館

中国人ガイドさんのやさしさがとても身 良い旅行になりました。 とを感じ、考えることができた、とても ればならないと思いました。いろんなこ 嫌な思いもたくさんしたと思います。だ 日本に留学したそうです。きっと日本で 家族のために薬からカイロまで用意して たのだからこそ、中国人に優しくしなけ から私も、中国人にひどいことを言われ くれました。この方は大人になってから にしみました。そのガイドさんは、私達 だからこそ、私はそのときに出会った

(中学二年生女子)

ろいろな価値観を知り、感受性を磨いてい 異国で暮らしている中で、子供たちはい 一方的な偏見を持つのではなく、 国際

> 必ず会い、話をする、かけがえのない存 ら多くの中国語を教わってきた。帰れば

小さい頃からの仲良しで、彼女たちか

在になっている。ハルピンに帰ることで、

的な視野に立ち、バランス感覚を身につけ てほしいと願う。

徒が書いたものだ。 ができる生徒もいる。 は父親が中国人で、両方の言葉を話すこと 語を母国語としている。中には母親あるい 本校の生徒は、ほとんどが日本人で日本 次の作品はそんな生

これを五年ほど続けているが、全く飽き スープとシュウマイをたらふく食べる。 と祖父とおばが車で迎えに来てくれた。 友達といっても、中国には二人しかいな 本に帰るときは体重が増加している。あ の料理を毎日作ってくれる。そのため日 手料理は格別で、私の好きな濃い味付け と帰りたくなってしまう。さらに祖父の ることはない。今でもその味を思い出す 料理が大好きだった。朝は市場に行き、 るため、日本料理と同じくらいハルピン ハルピンでの楽しみはたくさんある。 る。日本から約二時間半、目的地につく 中国語を肌で感じて覚えることができ あるため、夏はとても涼しい。それに、 帰っていた。ハルピンは中国の北の方に が住んでいるハルピンというところに る年は二キロも増えてしまっていた。 だ。私は三歳の頃からハルピンに来てい つ目は親戚に会うこと、二つ目は食べ物 もう一つ楽しみは、友達と会うことだ。 小学生の頃の私は、毎年父方の祖父母 あの年の夏も私は一人で空港にいた。

目本人学校の概要

日本人学校は、国内の小学校、中学校又は高等学校における教育と同等の教育 を行うことを目的とする、全日制の教育施設です。一般に現地の日本人会等が主 体となって設立され、その運営は日本人会等や進出企業の代表者、保護者の代表 などからなる学校運営委員会によって行われています。昭和31年(1956年)にタ イのバンコクに設置されて以来、平成23年4月15日現在では、世界51カ国・地域 に88校(休校中の1校を除く)が設置されており、約1万9千人が学んでいます。 なお、平成23年(2011年)には、中国の上海日本人学校に高等部が開設されまし た。

日本人学校は、文部科学大臣から、国内の小学校、中学校、若しくは高等学校 と同等の教育課程を有する旨の認定を受けており、日本人学校中学部卒業者は、 国内の高等学校の入学資格を、高等部卒業者は、国内の大学の入学資格をそれぞ れ有します。教育課程は、原則的に国内の学習指導要領に基づき、教科書も国内 で使用されているものが用いられています。

現在、多くの日本人学校においては、現地の文化や歴史、地理など現地事情に 関わる学習や現地校等との交流を積極的に進めており、ネイティブの講師による 英会話あるいは現地語の学習も行われています。また、「国際学級」を設け、外国 人の子どもを受け入れている学校もあります。

その土地の文化について教科書よりも深 夏だった。 く、身体で体験することができる貴重な

(中学三年生女子)

だ。漢字や故事成語はこの国で生まれ、 本に伝わり溶け込んできた。論語も漢詩も から日本と中国は「一衣帯水」 の間柄

日

結びつきは強い。現在は経済面でも切り離 すことはできないだろう。 この国から学んできた。文化・教育面での

験を大切にしていきたい 境を無駄にせず、貪欲に学び吸収していき 域の人、教員仲間に恵まれている。この環 る。しかも、すばらしい生徒や保護者、 たい。国語を教える立場にあって、この体 地

私も縁あって四月から中国で暮らしてい

### EXCHANGE STUDENT im

### 出発まで

謝いたします。

験をさせていただきましたことを心から感

て同行する機会をいただき、大変貴重な経

STUDENT EXCHANGE in大

このたび「日中青年交流事業2012

(1)

今後の相互交流活動の

継続に期待

高校生の皆さんとともに訪問団の一員とし 連」に、団長の門野八洲雄先生と十二名の

ラムの意義や目的、訪問に当たっての心構 徒たちもこれから参加するプログラムへの を図ることなどを目標として確認し、多数 なコミュニケーションにより有意義な交流 団になること、相手の文化や考え方を尊重 えなどについてのお話があり、さまざまな 野先生から今回で七回目となるこのプログ 意欲と期待をさらに高めたようでした。 の応募者の中からの選考を経て集まった生 高校から集まった十二名が協力し合える集 し認め合うという姿勢を持つこと、積極的 大連訪問を前に行われた結団式では、

さまざまな旅の注意や情報をお聞きしたり コミュニケーションズの松岡寛美さんから 兼通訳として大変お世話になったアジア・ 協議会事務局長の松井三平さんや、添乗員 交えての講義を受けたり、岡山県教育交流 連の歴史や生活事情、簡単な中国語などに る総社高等学校の小松原純子先生から、大 ついて、ご自身が経験されたエピソードを して、中国訪問の準備をしてまいりました。 事前の研修では、大連での留学経験のあ

### 訪問行程

日までの五日間の日程で、大連・上海への そしていよいよ七月二十七日から三十一

> ちの見送りを受けて名残を惜しみながら大 りました。四日目は、パートナーの生徒た 準備練習していた岡山の紹介とうらじゃ踊 迎してくださり、岡山の生徒たちも事前に 器の笛や筝のすばらしい演奏で私たちを歓 連を出発し、上海に向かいました。最終 して、夕方から再びステイ先でお世話にな ら学校に集合し、旅順・大連市内の見学を 先に向かいました。三日目は、ステイ先か りを披露しました。その後、生徒たちはそ 会で中国の生徒たちが歌やダンス、伝統楽 模擬授業を体験しました。昼食後は、交流 第一中学校を訪問し、歓迎式の後、英語の 連には夕方到着しました。二日目は、大連 訪問が実施されました。初日は移動のみ 日、上海市内で博物館や豫園などを見学し れぞれのパートナーの生徒とホームステイ で、岡山空港を出発して上海を経由し、 た後、無事岡山に帰ってきました。

外のあちこちに高層マンション群が建設中 であり、道路や地下鉄の建設も進んでい 的なビル群と歴史的な建物の美しい街並み までもなく世界的な経済都市であり、近代 まさに目の当たりにしました。上海は言う て、この国の成長活力の大きさを実感しま 口を抱える大都市ですが、さらに市内や郊 でした。一方、大連はすでに六百万人の人 も屈指の大都市で、中国の経済発展の姿を 今回訪れた上海・大連は共に中国国内で (上海・大連の街)

# 大連第一中学校との交流とホームステイ

ともに、積極的に実施されているという海 建物で、校内には多数の書画が飾られると た建物を増改築した赤レンガ造りの美しい 校の校舎は、旧満州時代に日本人が建設し 大連市の中心部に位置する大連第一中学

り、この事業が、単年度限りでなく継続し もいて、私たちの訪問を大変喜んでくださ ことで、歓迎式では、石傑校長先生から旧 外との交流活動の様子を写した写真パネル の相互の訪問による交流活動であることの は、昨年度の交流事業で岡山に来られた方 山訪問時の写真もありました。第一中学校 も多数展示されており、中には昨年度の岡 意義を大変強く感じました。 て行われ、岡山から中国、中国から岡山へ てくださった先生方や生徒の皆さんの中に 言葉をいただきました。また、お世話をし 友として歓迎するという大変温かい歓迎の への岡山からの訪問は今回で三度目という

好的な関係を築いてほしいという考えを示 政治的な課題があったとしても、 きいと感じているという王先生のお話がと を通じて相互理解を深め、言葉や文化の違 ジアの隣国同士の私たちがこのような交流 学校ではアメリカ、ドイツ、フランスなど らっしゃった王先生によると、大連第一中 には、自由に意見を交わし未来に向けて友 くださった周先生は、中国と日本との間に での交流活動やホームステイに大変ご尽力 いを超えて友情を育むことの意義は大変大 い絆が生まれるようだということです。ア 士の距離が短期間のうちに縮まり、より強 が、日本人と交流では初めて会った生徒同 でもホームステイを実施されているのです してくださいました。 ても印象に残りました。また、今回の学校 昨年度の訪問団の団長として岡山にい 生徒たち

ころには以前からの友達のように仲良く話 縮まり、二泊三日のホームステイが終わる れていたようでしたが、 生徒たちも、 積極的なコミュニケーションに少し圧倒さ 王先生の言葉通り、今回参加した岡山の 初めは中国の生徒の皆さんの すぐにその距離は

そ、今回のプログラムの最大の成果であろ 日中両国の生徒たちの間に生まれた絆こ うと思います。 し笑い合う姿が印象的でした。このような

確なものとしたりしたようでした。 振り返ったり、外国語を学びたい、世界で に刺激を受けて、自らの生活や学習姿勢を 生の非常に熱心な学習への取り組みの姿勢 化に触れ視野を広げるとともに、中国の学 を通して中国の家庭の日常生活の中で異文 練習し、買い物などの場面で積極的に使用 活躍したいなどの将来の目標をより強く明 力の高さにも感心しました。ホームステイ するなど、岡山の生徒たちの順応力・吸収 また、教えてもらった中国語を繰り返し

## 相互交流活動の継続を願って

相互交流の鎖が途切れてしまったことを大 伺っています。このような形でこれまでの 政治的な理由からやむを得ず中止されたと 事の中止が早々に決定されるなか、大連第 れませんでした。両国のさまざまな交流行 問題により訪問が中止され、再会は実現さ 空港を後にしました。しかし、尖閣諸島の イで友情を育み、別れがたい生徒たちでし を含む訪問団が、十月に岡山を訪れること 方向で考えてくださっていたようですが、 たが、数ヶ月後の再会を楽しみにして大連 になっていました。二泊三日のホームステ た大連第一中学校の生徒たちのうちの八名 一中学校からの訪問はその直前まで実施の 今回ホームステイを受け入れてくださっ

すく温かい人柄に直接接した生徒たちは、 心を痛めずにはいられません。それでも、 この夏中国を訪れ、中国の人々の親しみや 人々の行動に表わされる反日の感情には、 メディアから伝えられる中国の情勢、

> と思います。 また世界との友好的な交流の礎となるもの まれた友愛の情こそが、将来の日中両国、 を、実感として感じているのではないで 理解し大切に思う気持ちに変化のないこと 情は今回のような問題があっても損なわれ ないこと、人と人との交流から芽生えた友 しょうか。このような交流体験を通じて生 人々への感謝の気持ちや友人として相手を るものではなく、お世話になった中国の メディアが伝える情報が決してすべてでは

ます。ありがとうございました。 様のご尽力に深く敬意を表し、お礼を申し 会が実現しますように心よりお祈りしてい 実施され、日中の高校生の交流と成長の機 も早く回復してこの事業が今後も継続的に 上げますとともに、日中両国の関係が一日 義なこのプログラムに関係するすべての皆 最後になりましたが、改めて、大変有意

### 日本人生徒感想文

### 中国訪問を終えて

ぱいです。 けたことに心の底から感謝の気持ちでいっ 今回このような機会に参加させていただ 浅野 芙実(岡山操山高等学校 3年)

多い地ならではなところを実際に見て驚き ました。 ジを超える中国の都会的なところや人口の ングセンターや学校や広場など私のイメー ドで走るのに運転席にはパソコン1台しか ちリニアモーターカーはものすごいスピー なく、大連では大きなスーパーやショッピ ルよりもはるかに大きいビルがたくさん建 じることがありました。上海では岡山のビ 5日間ふりかえると短い中でたくさん感



副校長先生と門野会長

石傑校長先生、

とはメールをして今でも仲良くやりとりを れいな景色を、バディと足だけつかって眺 す。一番忘れられないのは、夜海に行った と思います。ホームステイのことは帰国し ました。この気持ちは今後も大切にしよう こっちどっちの男の子がかっこいい?」と いですがこれからもずーっと友達です。 しています。会える機会が少なそうで寂し めました。とてもしあわせでした。バディ にでもまた会いたいくらいすてきな家族で しょうもなくておもしろくて親近感がわき ごせました。中国の学生も私たちと同じで 達と過ごすのと同じような楽しい時間を過 か日本の芸能人にかけた冗談とか日本で友 れ、バディの友達も優しくて「こっちと も上手なうえに積極的ですぐになかよくな ことです。私は海が大好きで夢みたいにき てからもたくさん思い出します。いますぐ 滞在中に上海でガイドをしてくださった 第一中学で出会った生徒は日本語がとて

> 気になれます。旅の前まで本当は少し怖い 切に思えます。 ので友好的な気持ちで考えられますし、 るといい人が多くて、今は友達のいる国な イメージもあったけれど、実際にいってみ 国で出会ったみんなを思い出してすごく元

# 遥(倉敷古城池高等学校 3年)

と思ったからです。そして、わたしはこの 中国の文化や中国の人々をより深く知れる が出来ました。 5日間を通して期待以上のものを得ること の学生との交流やホームステイを通して、 私がこの交流事業に参加したのは、中国

私はペアである苗と同じ部屋で過ごし、同 遅くまで布団の中で話していました。将来 別れることになっていたせいか私たちは夜 じベッドで寝ていました。次の日には苗と を出るまでの時間です。ホームステイ先で は、ホームステイの2日目の夜から大連市 の夢やお互いの国の事、学校の勉強、 い時間ですが、最も印象に残っているの 5日間の全ての瞬間が私にとって忘れ難



-中学校正門前にて 大連第

こうと思っています。青空や月をみると中 で中国語を専攻して必ずもう一度中国に行 えてもらいました。日本に帰ってから大学

マさんやリーダーや松岡さんに中国語を教

最後に「STUDENT EXCHAN

中し、子供たちは熱心に勉強すると言われ じられていることも教えてもらいました。 ていましたが、その通りだと彼女の話を聞 子政策のために一人の子供に親の期待が集 事前研修会で門野先生が、中国は一人っ 中国の高校生は学業のために恋愛を禁 と同時に、この経験を私の一生に役立てて の交流事業に参加できたことを誇りに思う 方々、本当にありがとうございました。こ GE in 大連」に関わってくださった 日々は私の宝物です。 いきたいと思っています。

大連一中での交流会 とても良い刺激になり、

中 山 高志(金光学園高等学校 3年)

どういう国で、台湾・日本との違いをぜひと 大連〟に参加させてもらいました。 です。そして今回、 も自分の目で見て肌で感じたいと思ったから 国だと勘違いされるのですがその中国が一体 湾と日本のハーフで、台湾と中国はよく同じ STUDENTS EXCHANGE i この交流行事に参加した理由は実は僕は台 僕は全体リーダーとして

強しなくてはいけないと感じました。 国と関わっていくために私たちももっと勉

まず一番印象深く残っている出来事はや

次の朝、苗は学校に行く前に広場の有名

いて思いました。そして、将来も日本が中



分が今中国にいることを心から幸せに思い

この後中国の学生達は私たちを空港まで

苗と出会い、多くの事を知り、 てくれたのです。この時私は、

経験し、自 中国に来て 見て欲しかったとわざわざ朝早くに家を出 旅行に来た人は必ず訪れる場所で、私にも な噴水へ連れて行ってくれました。大連に

と別れなければいけないのはとても寂し 手を振り続けてくれました。苗や他の学生 見送りに来てくれ、姿が見えなくなるまで

から中国語を勉強してもう一度苗に会いに

チェン君の家庭にホームステイできて本当

涙が止まりませんでしたが、私はこれ

英語の模擬授業体験①

り日本語もぺらぺらでした。実はパート 学二年生まで日本で暮らしていたこともあ も本当に親切で気を遣ってくださり本当に れられない思い出になりました。お母さん あったのかなとも思いました。僕も中国語 ン君と僕は誕生日が一日違いで何か縁が 知らないにも関わらずチェン君がパート 来ました。僕のパートナーはチェン君で中 庭に滞在し生活実態を肌で感じることが出 た。チェン君の友達や男子全員でカラオケ るそうで日本との違いをすごく実感しまし 死で家庭教師を2人も雇っている家庭もあ 学は本当に勉強熱心な学校で日々勉強に必 ケーションには不自由はありませんでし 中国語で会話していたので何一つコミニュ が話せるのでチェン君とは交互に日本語・ には驚きました。その後聞いてみるとチェ ナーなんだろうなという感覚がすでにあっ ナー紹介の際にチェン君がパートナーだと やゲームセンターに行ったことは本当に忘 た。チェン君曰く今回交流した大連第一中 て本当にチェン君がパートナーだったとき



英語の模擬授業体験②

とはかなり違っていて理解するのが少し難 を使っており台湾で用いられている繁体字 中国の文字も簡体字という略している文字 中国語を聞いて覚えたので、初めての中国 じた違いは中国語の違いです。僕は台湾で きるか考えさせられました。そして次に感 れから僕はどれくらい日中の発展に協力で 銭湯に行っている人もいることを知ってこ ました。観光地でお金を集めている人がい 高層ビルが立ち並ぶ風景・行く先々での森 が中国に着いた途端一目で分かりました。 欲がとても刺激されて本当に貴重な経験に 本場での中国語はすこし聞き取りにくく の経済格差も大きくなっているのだと感じ かしその一方で経済発展と同時に富裕層と の経済成長を物語っているようでした。し ビルや上海タワーなど真新しい建物が中国 た理由の台湾・日本との違いについてです しかったです。なので中国語を勉強する意 たり、家庭にはお風呂がなく一週間ごとに そして今回僕がこのプログラムに参加し

僕は今回の活動を通して精神的に大きく



中華料理も満喫しました

によかったと思っています。

行くという夢ができました。

高校生やたくさんの中国の学生に出会いま

受験生である私にとって、彼らの存在は

彼らと過ごした

この交流事業に参加し、11人の岡山県の

とみんなと別れるのが嫌だったなあ~でも を円滑に行われるように計画し支援してく ました。最後になりましたがこの交流行事 涙はこらえて必ず会えると信じてこれから の役目を果たせたかは分からないけど本当 日本語は中国語でなんて言うの?とか頼っ この活動に参加できたことを誇りに思って あろうし、一緒に行った11人の友達と言葉 から社会に出て行くときに必ず役に立つで もない人と一緒に団体行動することはこれ 成長出来たと思います。まだ知り合って間 方々に感謝申し上げます。ありがとうござ ださった門野会長をはじめとする多くの あっという間の五日間でしたが内容の濃い にリーダーを経験出来てよかったです。 てきてくれて本当に嬉しかったしリーダー います。全体リーダーとしてみんながこの に表せられないぐらい良い思い出が作れて 一生に残る貴重な体験でした。本音を言う 一杯頑張っていこうと改めて思い

村木 千晶 (岡山朝日高等学校 2年)

だ。もしこの文章が役に立ったらとても嬉 るとき、多くの不安要素を持っていたから うと思っている。なぜなら私自身が参加す 参加される人が読んで為になる内容を書き 私は感想文というより、来年この研修に

までの英語力が必要なのか分からなかった の友達ができる」などと聞いていると、自 本語での面接や研修があった。正直、どこ 分も行ってみたいと思うようになったのだ。 だった。「とっても楽しい!」「色んな学校 ログラムに参加したきっかけは、昨年参加 した同じ学校の友達の体験談を聞いたから 私がそもそも、この大連への交換留学プ 実際に参加するまでは英語、日

> と協力するようになるのだ。これはこの旅 けてきてくれるいい人ばかりだし、海外な とそんなことはない。皆、気さくに話しか のか…?」「足手まといにならないだろう 国に行って実際に役立つものだった。ぜ 聞いた。研修会で聞いたお話の内容は、 の練習をしたり、中国事情に関する説明を では大連の子たちの前で披露するプレゼン うと、受かった自分はとても幸運だった 達がたくさんできるということだ。 それは、たった五日間の研修でも大切な友 のなかで私が強く実感したことなのだが… か…」などと考えていた。が、行ってみる く不安だった。「他校の子と仲良くやれる ひ、一生懸命聞いておくことをお薦めする。 験をすることが出来たのだから…。研修会 かったと感じる。おかげであんなにいい経 かったから、殆ど素の状態で受けた。今思 んていう非日常の環境に置かれると、自然 し、受かったこと自体がとてもありがた し、どんな質問をされるのかも思いつかな そして大連へ行く日。私は朝からもの凄



上海リニアモーターカー乗車体験

思った。殆どの子が同じようなもので、言 らだった。下手な日本人より上手い…と だいたのは王ちゃんという女の子の家だっ 来てくれた時には、こっちも王ちゃんの為 りと、とてもありがたかった。いくらお礼 物やお菓子をいっぱい用意してくれていた ムステイ先の家族は皆とても親切でこっち 語の心配は全く必要ないと思う。王ちゃん た。彼女は日本語選択で、日本語はぺらぺ のお母さんは、わざわざ日本人の口に合う のことをとても気遣ってくれる。王ちゃん 気になるのはお父さんやお母さんのことだ なら喜んでもらえるか…?と頑張って考え 渡したときには、とても喜んでくれた。何 の家へ行き、日本から持ってきたお土産を れておこう。私がホームステイさせていた におもてなしをしたいなあとも感じる。 を言っても言い足りないと思うし、日本に ように…と味付けを工夫してくれたり、果 しくなった。ホームステイの時、やっぱり て選んだ物ばかりだったので、こっちも嬉 ここでメインのホームステイについて触 でも、このことも心配無用。ホー



ホームステイでお世話になった仲間とともに

経験に基づいて一言。それは「行ってみな

そろそろまとめに入ろう。この研修での

いと分からないことは沢山ある!」という

うだなあ…と思う。 将来、海外で働くのも面白い経験が出来そ とがきっかけで世界に興味が湧いてきた。 ことだ。未だに日本には反中感情を持って 敵な機会に会えて良かったです。ありがと ムの皆様。本当にお世話になりました。 様、添乗員の松岡さんを初めとするアジコ なくとも私はそうだった。それに、このこ るとイメージはがらりと変わるはずだ。少 もあるかもしれない。でも、実際行ってみ たりもしている。確かに中には正しいこと たい、とか中国は危ない国だ、とか思われ いる人もいるようだ。他にも、 してくださった、日中教育交流協議会の皆 また、一緒に大連へ行った皆。こんな素 最後になったが、このプログラムを計画

修に関わってくださった方全員に向けて。 ありがとうございました! 文章が行ったり来たりしていますが、研



大連空港にて別れを惜しんで

### 医療福祉の資格40年の伝統校

### 旭川荘厚生專門学院

●旭川キャンパス

児童福祉科(保育コース・幼保コース) 第1看護科 第2看護科

〒703-8560 岡山市北区祇園866 電話(086)275-6846 FAX(086)275-0018

●吉井川キャンパス 介護福祉科 精神保健福祉科

〒704-8126 岡山市東区西大寺浜610 電 話(086)944-6911 FAX(086)944-6922



### 岡山商科大学孔子学院

21世紀はアジアの時代、中国語を学ぶ絶好のチャンスです。中国政府認定講師による中国語講座開催中!

☆HSK3級合格を目指す長期生コース

15週学習を通じて、HSK試験(中国語能力認定試験)3級合格を目指します! ※会社や団体への出張講座、子供向けコース・太極拳コースも開講中!

・お問い合わせ/お申し込みは

岡山商科大学孔子学院 〒700-8601

岡山市北区津島京町2丁目10-1 TEL 086-252-0642(内線521) FAX 086-255-6947 http://www.osu.ac.jp/koushi/ 新HSK試験5級をめざす

### 特別コース

中国語講座(2012年度後期) (2012年10月~2013年3月)

子供向けコース(全15回) 毎週土曜日(11:00~12:00)

太極拳コース

每週土曜日(14:00~15:00)



### 学校法人中国学園

### 中国学園大学

### 中国短期大学

- ●総合生活学科
- ●保育学科
- ●英語コミュニケーション学科

- ●情報ビジネス学科
- ●専攻科(介護福祉専攻)

〒701-0197 岡山市北区庭瀬83番地 TEL086-293-1100 FAX086-293-3993 http://www.cjc.ac.jp/ E-mail t-bosyu@cjc.ac.jp

### 学校法人 加計学園

### 岡山理科大学附属中学校

ひとりひとりの能力を最大限に引き出し、伸ばすとともに、自ら学び自ら考える人間を育てる。

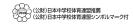
○ スーパー選抜クラス: 東大・京大・国立大学医学部等の難関大学への進学を目指します。

○ 選 抜クラス:国立大学・私立大学への進学を目指します。

〒700-0005 岡山市北区理大町1-1 岡山理科大学附属中学・高等学校 中高入試広報課 TEL (086)256-8527 FAX (086)256-8526







### 尾崎商事株式会社 岡山営業所

〒701-0206 岡山県岡山市南区山田2316-28 TEL 086(292)8255 FAX 086(292)8266

kanko.

ELLE

MICHEL KLEIN

お問い合わせください。

**XSprinter** 

Reebok

尾崎商事株式会社 本社 〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町15番1号 岡山リットシティビル5F

OZaKi お客様相談室 0120-712983

http://ozaki.jp/



赤ちゃんからお年寄りまで 一人ひとりの「よく生きる」のために。



### 事業領域

国内教育、海外教育、生活、シニア・介護、 語学・グローバル人材教育

> くわしくはホームページをご覧ください。 http://www.benesse-hd.co.jp/

### 株式会社ベネッセホールディングス

岡山本社 〒700-0807 岡山県岡山市北区南方3-7-17 東京本部 〒206-0033 東京都多摩市落合1-34

Benesseは、ラテン語の「Bene(よく)」と「esse(生きる)」を一語にした造語です。

### 眼鏡医療技術専門学校ワールドオプティカルカレッジ



今年も全員就職が内定しました!

天職が見つかる「学校説明会」

2月2日(±) 3月2日(±) 13:30~16:30

ご予約は 0120(88)8233へ

高校生も社会人の方も、是非私たちの学校を見に来て下さい

資料は無料配布 随時見学できます ◀ 本校独自の特待生制度 奨学金制度があります ▼ 続大大卒コース (2年制)

**〒703-8282岡山市中区平井6-6-11** http://www.woc.ac.jp E-mail woc@woc.ac.jp

### 中国語を話そう!

入門、初級、中級、上級、レベルに合わせて学びます。 見学歓迎!ご一報ください。

用> 入学金…3,150円 (消費稅込)

☆協会会員・継続者は免除☆

受講料…31,500円 (消費税込)/全24回

教材費…実費 (2,000円~3,000円程度)

<申込方法> 申込書と、受講費用を事務局へご持参またはご送付下さい。 費用は前納にて一括納入を原則とします。

《問合せ先》

岡山中国語センター(岡山市日中友好協会内)

〒700-0902 岡山市北区錦町5-15 南田辺ビル2階 TEL (086)225-5068 E-mail oknittyu@yahoo.co.jp http://www.oka-rizhongyouxie.jp/

おかげさまで24周年!

### **|ミュニケーションズはあなたのツアーデスク!**

○岡山発着航空機の手配いたします! 中国東方航空は、岡山・上海

大韓航空で韓国ソウルへ、仁川空港経由で中国各地へ!

○お得なパッケージツアー(上海・大連・青島・など)

○特徴あるこだわりのツアー

シルクロード、チベット、雲南、内蒙古など 皆様のご要望に沿った旅行企画をいたします。 安心の添乗員同行ツアーです

○日中教育交流のサポート 企画から旅行実施、添乗までサポートします。 ○お気軽にお問合せ下さい

### アジコム→ツア-

/ 株式会社アジア・コミュニケーションズ ASIA COM 観光庁長官登録旅行業第1816号 @JATA正会員 IATA公認

岡山市北区錦町5-15 南田辺ビル4F(〒700-0902) TEL (086) 231-0334 FAX (086) 222-7732

http://www.asicom.co.jp Eメール info@asicom.co.jp



岡山県日中教育交流協議会

### 岡山県日中教育交流協議会 会報 『悠久』第39号

発 行:平成24年12月

発行者:岡山県日中教育交流協議会 編集委員会

〒700-0902 岡山市北区錦町5-15 南田辺ビル2階

TEL (086) 225-5083 FAX (086) 225-5041

印刷所: 旭総合印刷株式会社